

Stata を用いた計量分析入門

日時： 2022 年 3 月 2 日（水） 10:30～17:00

場所： オンライン開催（詳細は別途ご案内）

料金： 一般 5,000 円 学生 2,500 円

講師： 麦山亮太（学習院大学）

定員： 35 名

■本コースの内容

統計ソフト Stata を用いて、実際のデータを用いながら、基礎的な計量分析（記述統計量、2 変数の関係、線形回帰分析、ロジスティック回帰分析）の結果のまとめ方について学習します。たんに Stata で結果を出すというだけでなく、結果をどのように解釈するのか、どのようにして見やすい図表を作るのか、結果を Excel ファイルや pdf ファイル、画像ファイルなどに出力・保存するため効率的なワークフローといった、統計ソフトや計量分析の教科書などには書かれていないことも多い実践的な側面に重点をおいて解説します。

■次のような方におすすめです

- SPSS, SAS, R などの統計ソフトを使っているが、新たに Stata を使い始めたい
- クロス集計表や回帰分析などの基礎的な知識はあるが、Stata ではどのようにするのか知りたい
- 計量分析を行うときにはどのような手順で作業を行うのかを知りたい
- Stata で見やすい図や表を作るためにはどのようにすればよいかを知りたい
- 回帰分析などの結果をより適切に解釈し、より実質的な意味のある分析結果を得るためにはどうすればよいか知りたい

■注意事項

- ・大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJ データアーカイブヘデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・Stata がインストールされていないパソコンをご利用の方は、募集フォームの「Stata インストール希望」にチェックを入れてください。後日、事務局から期限付きライセンスをご案内いたします。インストール済みの場合は講義開始時間の 10:30 までに指定の URL にアクセスしていただければ結構です。

■本コースの日程

- Stata の基礎とプロジェクト管理
- データ加工の基礎
- 記述統計と基礎的分析（クロス集計と分布の比較）
- 線形回帰分析と結果の解釈
- ロジスティック回帰分析と結果の解釈

*進度によって内容が若干変わることがあります。